

令和4年2月18日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰泉
母子保健担当理事 三宅

風疹ゼロプロジェクトについて

神奈川県医師会より文書が参りましたのでお知らせいたします。

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菡 敏

“風疹ゼロ”プロジェクト（日本産婦人科医会）について

日本産婦人科医会においては、先天性風しん症候群児の出生をゼロにし、風しんの完全抑制を目指す「風疹ゼロ」プロジェクトが立ち上げられています。

本年も2月4日を「風疹（ゼロ）の日」、2月を「風疹ゼロ月間」と定め、本会に対して同プロジェクトの啓発活動への協力方依頼がまいりました。

つきましては、貴会におかれましても同プロジェクトの趣旨をご理解いただき、可能な範囲内でのご協力を賜りたく、格別のご高配のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和4年2月4日

各位

公益社団法人日本産婦人科医会
会長 木下 勝之
副会長 平原 史樹

“風疹ゼロ”プロジェクト ご協力をお願い

本会では、先天性風疹症候群児の出生をゼロにし、風疹の完全抑制を目標とした活動を進めております。そこで2016年夏より厚生労働省をはじめ、行政、各種団体等、皆様方のご理解、ご支援のもと、『“風疹ゼロ”プロジェクト』を立ち上げました。

例年、2月4日の『風疹（ゼロ）の日』を中心に、2月を“風疹ゼロ”月間と定め、多くの関係者の方々のご賛同のもと、イベントをはじめ、一斉に情報発信、啓発活動を進めて行ってきましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に伴う状況下でもありますため、WEB配信による啓発イベントを開催しました。皆様には“風疹ゼロ”プロジェクトの宣言の啓発キャンペーンをお願いいたしたく、宣言文の掲示等の啓発活動をあわせ実施いただけますようお願い申し上げます。なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

“風疹ゼロ”プロジェクト

代表	木下 勝之	(日本産婦人科医会会長)
作業部会代表	平原 史樹	(日本産婦人科医会副会長)
作業部会副代表	多屋 馨子	(国立感染症研究所感染症疫学センター予防接種総括研究官)
作業部会	奥田 美加	(日本周産期・新生児医学会)
	倉澤 健太郎	(日本産婦人科医会)
	谷垣 伸治	(日本産科婦人科学会)
	峯 真人	(日本小児科医会)
	森内 浩幸	(日本小児科学会)

(50音順)

本年(2022年)の宣言

2022年2月4日“風疹の日”宣言

— 『“風疹ゼロ”プロジェクト』—新型コロナウイルス感染症が流行中ですが
目標の25%の方しか風疹抗体検査が完了していません! —

■40～50代の男性ならびにその職場に強く訴えます!

■風疹抗体検査・第5期風疹定期接種のクーポン券を受け取ったすべての方へ
(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性です)

まだ75%の方が検査を受けていません

○風疹をゼロにするために検査を受けてください

○また職場等では検査・予防接種を受けられるよう特段の配慮をしてください

■風疹抗体検査、予防接種(MRワクチン)が

特にこの世代に実施されるよう皆さんの行動を求め、周囲の協力を求めます

■新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が大きな話題となっていますが、わが国では
2019年から妊婦への風疹罹患のリスクをなくすための
大切な対策が続いています(みなさまにクーポン券が届いています)

- ・本年は2022年2月4日にゲストにJ-リーグ 元サッカー日本代表 武田修宏、中澤佑二両氏を迎えてウェブイベントとして開催することとしました。
- ・ウェブイベントの動画は2月下旬から、下記のサイトで配信しますので啓発にご活用くださいますようお願いいたします。

(厚生労働省 Youtube チャンネル <https://www.youtube.com/user/MHLWchannel/videos> にて「風しん」で検索するとトップに掲示されるよう設定予定: 2022年2月下旬)

- ・各組織、機関等におかれましては次ページ以降の内容を中心に掲示、HP等で周知啓発をお願いいたします。

＜貴組織からホームページ等で発信いただきたい内容は以下のとおりです＞

2021年“風疹ゼロ”プロジェクト宣言

— 毎年2月4日は風疹の日 !! —

2022年2月4日“風疹の日”宣言

— 『“風疹ゼロ”プロジェクト』—新型コロナウイルス感染症が流行中ですが
目標の25%の方しか風疹抗体検査が完了していません！ —

- 40～50代の男性ならびにその職場に強く訴えます！
- 風疹抗体検査・第5期風疹定期接種のクーポン券を受け取ったすべての方へ
(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性です)
まだ75%の方が検査を受けていません
○風疹をゼロにするために検査を受けてください
○また職場等では検査・予防接種を受けられるよう特段の配慮をしてください
- 風疹抗体検査、予防接種(MRワクチン)が
特にこの世代に実施されるよう皆さんの行動を求め、周囲の協力を求めます
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が大きな話題となっていますが、わが国では
2019年から妊婦への風疹罹患のリスクをなくすための
大切な対策が続いています(みなさまにクーポン券が届いています)

参考

- 1 厚生労働省：風しんの追加的対策について
https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella_m111/700_idsc/5544_rubellaposter2015.html
- 2 国立感染症研究所感染症疫学センター：成人男性も風しんの予防接種を受けましょう
https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella_m111/700_idsc/5544_rubellaposter2015.html

*2022年2月4日 “風疹ゼロ”プロジェクト 啓発イベント(元サッカー日本代表 武田修宏、中澤佑二氏を迎えて)を実施しましたのでその動画配信(下記)もぜひご覧ください(2月下旬から配信します)

(厚生省Youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/user/MHLWchannel/videos> にて「風しん」で検索するとトップに掲示されるよう設定予定：2022年2月下旬)

■協力要請組織、共同行動組織、機関

厚生労働省、経済産業省、外務省、各都道府県市区町村、国立感染症研究所
日本医師会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本周産期・新生児医学会、
日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児保健協会、日本小児感染症学会、日本耳鼻咽喉科頭頸
部外科学会、日本感染症学会、日本ワクチン学会、日本ウイルス学会、日本臨床ウイルス学会、日
本細菌学会、日本呼吸器学会、日本環境感染学会、日本渡航医学会、日本プライマリ・ケア連合学
会、日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本医療・病院管理学会、
日本医療情報学会、日本集団災害医学会、全国保健所長会、地方衛生研究所全国協議会、全国衛生
部長会、全国機関 衛生学公衆衛生学教育協議会、予防接種推進専門協議会、一般社団法人社会医学
系専門医協会、日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会、日本保育保健協議会、一般社団法人
日本ワクチン産業協会、日本先天異常学会 一般社団法人日本遺伝カウンセリング学会、一般社団
法人日本人類遺伝学会
マスメディア各社、広告情報業界
企業、事業体、財界・業界団体、経済界
風疹をなくそうの会 ほか関係者
日本医療研究開発機構研究事業(ワクチンで予防可能な疾患のサーベイランスとワクチン効果の評
価に関する研究) その他 (順不同)